

効果的な捕獲に係る新技術の地域実証について

1 概要

シカが防鹿柵沿いに歩く習性を利用し、漏斗状に設置した誘導柵によって広い所から次第に狭窄部に誘導するように行動を制限することで、くくりわなによる捕獲効率を高めることができるか検証し、効果的な捕獲方法について考察した。

2 調査方法

(1) 誘導柵設置

誘導柵設置位置を図1に示す。以下の条件の下、添田町津野の添田町町有林内に設置した（写真1）。

- ①英彦山の北側でこれまでシカの往来が多かった谷（鞍部）。
- ②耶馬日田英彦山国定公園内に生息するシカの行動範囲 [約 0.3～0.5 km²（桑野ほか，2019）]。
- ③作業従事者にとってアプローチが安全かつ容易で誘導柵の資材搬出入や設置がし易く、捕獲個体の搬出入も容易。

(2) 行動・反応の確認

誘因餌として食塩水（鈴木ほか，2024）を狭窄部に設置し、センサーカメラ5基を用い、誘引餌への誘引状況や誘導柵に対するシカの行動や反応等を確認した（写真2）。誘導柵周辺をシカが利用し始めたのを確認した後、くくりわなを用いて捕獲を実施した。

(3) 捕獲

捕獲効率の検証にあたって、捕獲は図2に示す2通りの手法で行った。

- ①誘導柵沿いに歩くシカの習性（林野庁，2013）を利用し、誘導柵沿いで捕獲する。
- ②狭窄部を設けることにより、シカの滞留を生み出し、無作為に捕獲する。



図1 誘導柵設置位置



図2 誘導柵を用いたくくりわな捕獲技術の実証イメージ



写真1 誘導柵設置状況



写真2 誘引餌（食塩水）設置状況

3 結果と評価

- ・8月25日に齢性不明個体1頭が撮影されて以降、10月まで狭窄部を通過するシカは確認されなかった。その後、11月に入り狭窄部を通るシカが確認されるようになったことから、11月27日から12月6日までの10日間、くくりわな10基（誘導柵沿いに5基、狭窄部に5基）を用いて捕獲を実施した。
- ・狭窄部に設置したくくりわなで雄成獣1歳以上1頭を捕獲し、捕獲効率は全体で0.01（1/100）、狭窄部のみで0.02（1/50）となった。
- ・今回の検証地は、人工林で餌となる下層植生や落葉が乏しく、日当たりが良くない環境であった。そのため、シカが長時間滞在する環境に適さず、繁殖期（9月～11月）の利用環境として重要度が低かった可能性がある。
- ・一方で、誘導柵周辺でセンサーカメラによって複数の個体が確認されており、誘導柵狭窄部における捕獲もあったことから、誘導柵の効果については、よりシカの利用頻度の高い環境・好適時期において再検証する余地がある。
- ・長年捕獲を継続しており、捕獲効率の維持・上昇が課題となっている本事業区域においては、誘導柵の設置は有効な捕獲方法の一つになり得ることから、来年度も引き続き効果検証を行っていく。

表1 シカの撮影状況

撮影日	YCM1				YCM2				YCM3				YCM4				YCM5				
	M	F	J	U	M	F	J	U	M	F	J	U	M	F	J	U	M	F	J	U	
8月23日	誘引餌（食塩水）、センサーカメラ（YCM2、YCM3）設置																				
8月25日												1									
9月12日	誘導柵設置																				
10月					撮影なし																
11月13日					1					1											
11月15日										1			2								
11月20日										1											
11月22日										2											
11月27日	捕獲実施開始（くくりわな10基）、センサーカメラ（YCM1、YCM4、YCM5）設置																				
11月27日										1				1							
11月28日										1				1				1			
11月29日					1					1											
12月4日					1					1											
12月5日					1					1											
12月6日					1									1				1			
12月6日	捕獲実施終了																				
12月7日																			1		
12月9日					1			1		1	1										
12月10日														1				1			
12月16日															2						
12月17日																			1		
12月19日	1										1			1				1			
12月20日					1					1											
12月22日								1			2										
12月23日								1			1										

M：成獣雄 F：成獣雌 J：幼獣 U：成幼、性別不明

※表内の数字は同日に撮影された頭数の計を示す。（同一個体が複数回撮影された場合、1頭として計上する）

※赤字は捕獲個体が撮影されたものを示す。

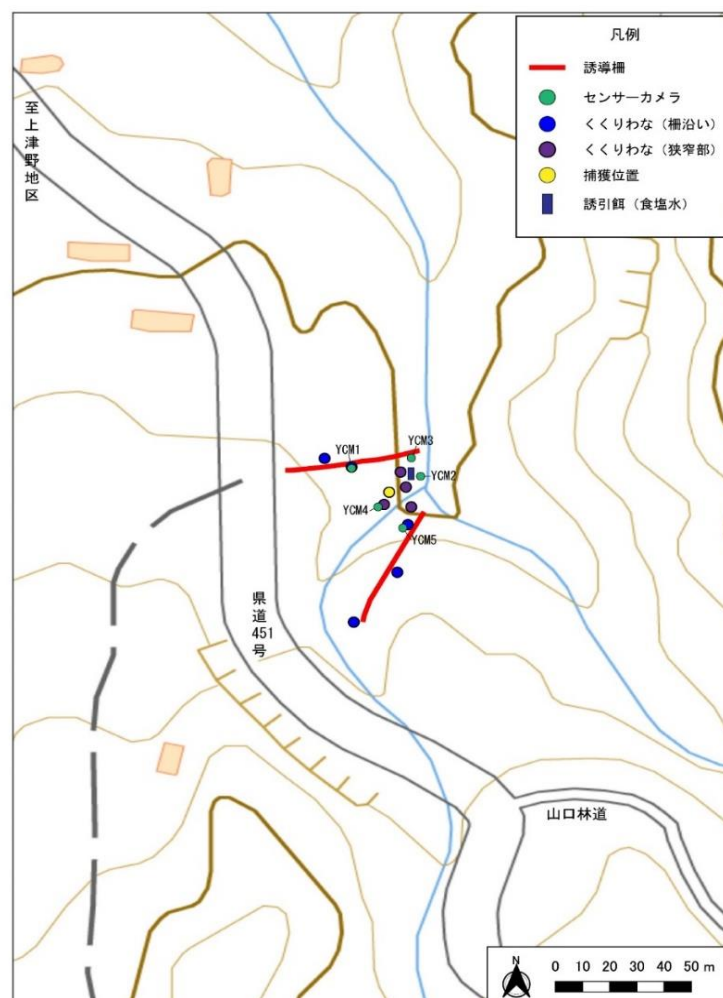


図3 誘導柵、センサーカメラ、くくりわな設置位置